



感染予防の季節となりました。予防医療の基本です。
フィラリア、ノミ、ダニの予防は4月から12月まで行いましょう。
この機会に成人病の予防も始めましょう！

フィラリアの予防について

室内飼育の猫も感染します。

猫にもフィラリアの予防が必要です！！

フィラリア症とは、蚊から虫(フィラリア)が感染し心臓に寄生することを言います。
予防しないと多臓器機能不全、もしくは死亡する怖い感染症です。
犬においては一般的な寄生虫性感染症ですが、猫の場合も寄生します。猫に寄生した場合は、フィラリア虫体に対する激しいアレルギー反応による突然死も知られています。
また製薬会社は、11%の猫がフィラリア感染症であると報告しています。更に、日本獣医師会雑誌において若齢猫(推定年齢8か月)がフィラリア寄生によるHARD(犬糸状虫随伴呼吸器疾患)を発症し、死亡したと報告をしております。死のリスクがとても高い病気です。現在、治療方法は確立されておられません。そのため近年では猫のフィラリア予防も絶対必要であると考えられます。予防は月に1回、塗り薬を塗るだけです。

ノミダニの予防について

ノミ・ダニは、草むら・公園・河川敷・山だけでなくご自宅の庭でも感染します。

※野良猫ちゃんが遊びに来る場合、室内飼育で接触がなくとも感染するケースが多いです。(ヒトが運ぶ可能性もあります。)

ノミは、皮フ炎・瓜実条虫症・貧血・猫ひっかき病(ヒト)などの原因です。

ダニは、皮膚病・日本紅斑熱・ヘモバルトネラ・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などの原因です。SFTSはヒトが感染すると死亡することもある怖い病気です。今現在このウイルスに対するワクチンや治療法などは確立されていません。そのため予防だけが猫もヒトも守る唯一の方法です。三重県はマダニの生息数がとても多い県です。予防は月に1回、塗り薬を塗るだけです。

【予防期間】

4月初旬から11月下旬・12月初旬まで(中には冬の間も通年予防される方も増えてきています。)

蚊やノミダニの活動期間は、温暖化の影響で延びています。

(外に出る猫ちゃんは年中必要です。野良猫ちゃんは冬にもノミが寄生しています。)

【予防薬】

塗り薬；首筋に塗る薬です。月に1回塗ります。

フィラリア・ノミ・ダニ・お腹の寄生虫などほぼ全ての寄生虫を同時に駆虫・予防します。

猫ちゃんと一緒にご来院いただいて診察後、お薬を塗布します。

またはお薬だけ購入してお家で塗布していただくことも可能です。

当院オススメの予防薬



ノミ・ダニ・フィラリアお腹の寄生虫など

これ1つでほぼ全て予防できます。

月に1回塗るだけ！ おうちの中にも必要なお薬です。



猫ちゃんが本当に健康な状態であるか？の問いに、飼い主さんは食欲だけで判断している場合が多く見受けられます。食欲が無くなったときは、病気がかなり進行した状態です。この状態からの回復には難しい場合が多いです。成人病の発症を回避する為に定期的健康診断は、不可欠です。それは、定期的検診より、健康である事を確認するだけでなく、隠れた病気や未病の状態を把握し、早期に介入治療をする事で健康寿命を延ばします。

1:基本コース(19項目)

症状のない全ての猫ちゃんが対象です。

貧血・肝臓・腎臓・糖尿病など基本的な項目を検査します。

※基本コースだけでは心臓疾患は判定出来ません。

2:腎臓コース (19項目 + SDMA)

基本コースに早期に腎臓病を見つける SDMA を検査項目に加えます。

猫ちゃんは腎臓が悪くなりやすいので腎臓コースが一番オススメです。

また多飲多尿、尿量が多い、尿の色が薄い、口が臭いなど症状がある場合はこのコース以上のコースにしましょう。

更に尿検査も加えるとよいでしょう。できたら新鮮な尿をお持ちください。

3:心臓・腎臓コース(19項目 + SDMA + BNP)

腎臓コースに早期に心臓病を見つける BNP を検査項目に加えます。

7歳以上の猫ちゃんや心臓病・腎臓病の疑いのある猫ちゃんが対象です。

特にスコティッシュフォールド・マンチカン・ノルウェー・ジャン・メインクーンなどの純血種は心臓が悪いことが多いです。(特にオス猫)

結果次第では後日お預かりして心臓のくわしい検査をすることもございます。

検査結果によりステージ分類し、治療します。

4:シニアコース(19項目 + SDMA + BNP + T4)

全て調べたい猫ちゃんが対象です。

心臓・腎臓コースに甲状腺ホルモン T4 を検査項目に加えます。

高齢の猫、甲状腺機能亢進症の疑いのある猫ちゃんが対象です。(元氣・食欲はあるが痩せてきたなど)

以上の検査を定期的に行うことで発症する前の未病の段階で早期発見できます。食事療法、サプリメント療法、生活環境の改善により病気の発症を遅らせ、健康寿命を伸ばします。

☆心臓病・腎臓病は、ステージ分類によりガイドライン治療プログラムがあります。疫学調査も進んでいますので、病気が発見されても低いステージのまま、体調の良い状態を長くつづける事が可能です。



メディカルトリミングについて

当院で現在猫ちゃんのメディカルトリミングを行っております。(おとなしい子限定)

※ひどく暴れたり怒ったりする場合は途中で中断する場合がございます。

トリミングの際、事前に健康状態及び皮膚状態を把握しその子の体調・皮膚の状態に合ったトリミングを行います。獣医師や看護師による健康チェックで病気の早期発見につながります。病気の早期発見に努め、早期治療を行い、健康寿命を延ばします。

こんな子におすすめ

- 皮膚の状態が悪い子
- 高年齢や持病がある子
- 嫌がるため複数人のスタッフを必要とする子
- 抜け毛がひどい、毛玉を吐く子
- 家族がアレルギーのためキレイに保ちたい
- 一般的トリミングもご利用頂けます。

(なお、現在全身カットは行っておりません。)

シャンプー・コンディショナーは、皮膚の状態に適合したものを使用します。

歯みがきについて

当院では猫の歯みがき治療にも力を入れております。猫は歯や歯肉が悪くなると痩せたり、痛みで泣き叫びながら食べたり、最悪食べられなくて死に至ることもあります。

歯周病が重度の場合は麻酔をかけて悪い歯を抜いて歯をキレイにします。

子猫や歯周病が軽度の場合はおうちでの歯みがきが重要です。

歯を磨くことができない子は水に混ぜる歯みがきやおやつのように与える歯みがき、歯を触ることができる子は指、ガーゼ、歯ブラシへと徐々にできるようにしていきましょう！その子に合わせた歯みがきグッズがございます。一度歯の健診にご来院ください。

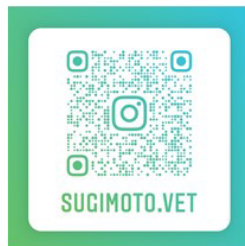
SNSについて(インスタとLINEを始めました!)

HPをリニューアルしました。(休診・臨時休診の情報も記載しています。)

お得な情報など配信します。この機会にぜひご登録ください。



SNSははじめました！
登録よろしくお願ひします



HP

お得な情報について

フィラリア予防、ノミダニ予防シーズン分まとめ買いは割引きやサービスがあります。

まとめ買いせず毎月ご来院の方は診察時に健康チェックを行います。

休診日・時間外の診察は登録制になります。スタッフにお声がけの上、登録用紙をご記入ください。

臨時休診について

臨時休診がある場合がございます。ホームページをご覧ください。

すぎもと動物病院 059-254-5575

